

医薬品研究Vol. 38既刊号総目次

投稿規定	医薬品研究投稿規定・執筆規定（改正2002年7月）		4
追悼	鈴木郁生先生を偲んで	寺尾允男	12
総説	医薬品開発における代謝物の安全性評価についての考え方	内藤真策・他	10 495
原著	生薬の血流増加作業に関する研究（I）	李 宜融・他	6 267
	臨床におけるノイロトロピン(R)と併用薬物との相互作用を予測するための放射性標識基質を用いたin vitro薬物動態試験	細江大上・他	8 369
	川キュウの調製法と化学的品質評価（第4報） －湯通し条件の違いが成分含量に及ぼす影響－	姉帯正樹・他	9 435
ノート	白 の調製法と化学的品質評価（第6報） ヨロイグサ生根の低温処理によるデンプン、糖及び希エタノールエキス含量の変動	姉帯正樹・他	11 557
資料	平成17年度「日本薬局方の試験法に関する研究」研究報告 日本薬局方一般試験法窒素定量法への「自動装置の適用」と「分解促進条件の追加」に関する検討	平井由紀子・他	3 95
	平成17年度「日本薬局方の試験法に関する研究」研究報告 ナノ粒子製剤－リポソーム－の規格・試験法に関する研究	佐塚泰之・他	3 103
	平成17年度「日本薬局方の試験法に関する研究」研究報告 日本薬局方における有害試薬の削減対策研究¥¥ ー二次元展開薄層クロマトグラフィーによる代替展開溶媒の検討ー	栗田浩幸・他	3 113
	平成17年度「日本薬局方の試験法に関する研究」研究報告 製剤総則に係わる容器試験法に関する検討	大久保恒夫・他	4 159
	平成17年度「日本薬局方の試験法に関する研究」研究報告 粉末X線回折法を用いたスルファニルアミド多形成分の定量	山本恵司・他	4 166
	チョウセンニンジンと称されるセリ科植物について	姉帯正樹	5 217
	平成17年度「日本薬局方の試験法に関する研究」研究報告 水分吸着等温線の解析による局方収載添加剤の吸着性に関する研究	吉岡澄江・他	5 228
	平成17年度「日本薬局方の試験法に関する研究」研究報告 皮膚適用製剤の溶出試験に関する研究	四方田千佳子・他	5 235
	製薬企業における非臨床安全性研究担当者の教育の現状 －製薬協アンケート調査結果の解析－	谷口 薫・他	7 323
	感染性微生物への安全性を考慮した血漿分画製剤採用ガイドラインの作成	佐藤淳也・他	7 333
	平成17年度「日本薬局方の試験法に関する研究」研究報告 バイオ医薬品の日局収載環境の整備に関する研究	川西 徹	8 381

医薬品研究Vol. 38既刊号総目次

資料	平成17年度「日本薬局方の試験法に関する研究」研究報告 －理化学試験用生薬標準品に関する研究－	関田節子・他	10 499
	クラリスロマイシンドライシロップの配合変化試験	生田弘史・他	11 563
解説	ICH E5ガイドライン（外国臨床データを受け入れる際に 考慮すべき民族的要因）Q&A 11について	上坂浩之・他	2 78
	米国National Cancer Institute における治療開発のextramural research	山本精一郎	3 141
	医薬ベンチャーの概要と振興策	浜野正一郎	3 148
	OECD-GLP制度の現状と今後の動向について	中島宣雅	5 242
研修会プ ロシィー ディング	第十五改正日本薬局方 製剤総則・一般試験法（製剤試験法）について	青柳伸男	1 1
	Biotechnology（品質）に関するガイドラインの動向について	早川堯夫	1 14
	局方調和に関するトピックの動向（Q4B）	森田 收	1 24
	E15 ファーマコゲノミクス EWG Report	今井康彦	1 32
	Quality（Q8, QOSを中心に）に関するトピックの動向に関して	奥田晴宏	2 41
	Gene Therapy Discussion Groupの動向について	山口照英	2 50
	Safety Brainstorming Discussion	井上達	2 60
	「治験のあり方に関する検討会」について	森岡久尚	2 69
	新薬承認審査を取り巻く最近の情勢について	中垣俊郎・他	3 120
	医薬品GMP調査の実施状況について	長嶋孝司・他	3 129
	ICH/Q8ガイドラインについて	奥田晴宏	4 171
	総合機構における治験相談と承認審査について	森和彦	4 185
	経口固形製剤の品質をめぐる諸問題	四方田千佳子	4 195
	薬事監視をめぐる最近の動向について	児玉臨	5 251
	ICH遺伝子治療専門家会議 －2006シカゴ会議報告－	山口照英	6 277
	ICHの最新動向	下荒磯 誠	7 342
	Q4B局方調和の規制当局による受入れ	森田 收	7 347

医薬品研究Vol. 38既刊号総目次

研修会プロシードディング	E15:Pharmacogenomics EWG Report	今井康彦	7 354
	ICH S2(R1):遺伝毒性 “Guidance on genotoxicity of pharmaceuticals”	林 真	7 359
	品質に関するトピックの動向 (Quality Strategy Discussion)	早川堯夫	8 391
	M3(R2) 医薬品の臨床試験のための非臨床安全性試験の実施時期についてのガイドライン (見直し)	佐神文郎	8 407
	妊娠と薬情報センターの取り組み	中島 研	8 412
	最近の医薬品安全対策について	伏見 環	9 442
	安全対策課における医薬品安全対策業務について	井上隆弘	9 447
	重篤副作用疾患別対応マニュアル (皮膚疾患)	渡辺秀晃	10 502
	新薬承認審査を取り巻く最近の情勢について	中垣俊郎・他	10 528
	医薬品医療機器総合機構における安全対策について	石黒昭博	11 577
	医薬品医療機器総合機構における治験相談と承認審査について —最近の情勢—	佐藤岳幸	11 590
	マイクロドーズ試験ガイダンスの検討について	大野泰雄・他	12 623
抗悪性腫瘍薬開発フォーラム	第二回抗悪性腫瘍薬開発フォーラム —本特集にあたり—	鶴尾 隆	6 286
	—改訂抗悪性腫瘍薬の臨床評価方法に関するガイドラインの背景と趣旨—	朝倉 渡	6 287
	—抗がん剤第Ⅲ相試験のグローバルスタディに関する企業(担当者)の考え方について—	鈴木英明・他	6 290
	—国際共同治験に参加するための条件: 第Ⅰ相試験の工夫について—	植田英治	6 297
	—実施済み海外第Ⅲ相試験の申請時利用のための条件—	中島圭子	6 302

医薬品研究Vol. 38既刊号総目次

抗悪性腫瘍薬開発フォーラム	ー併用薬剤の調達、用法・用量外の場合における問題点とその解決ー	佐藤拓夫	6 306
	ー総合討論ー		6 312
	第三回抗悪性腫瘍薬開発フォーラム ー東大病院及び大学病院臨床試験アライアンスの取り組みー	荒川義弘	12 639
	ー国立がんセンター中央病院の取り組みについてー	藤原康弘	12 646
	ーCurrent Phase I Study in Japan and Globallyー	星田昌宏	12 651
	ー国際共同治験における日本法人の取り組みー	藤居靖久	12 654
	ー厚生労働省の治験推進施策ー	林 憲一	12 658
	ー治験相談を通じて感じ、考えている事ー	森 和彦	12 664
	ー総合討論ー		12 668
その他	書評		8 430
薬事	製剤開発に関するガイドライン 薬食審査発第0901001号，平成18年9月1日		2 87
	エンドトキシン100標準品の取扱いについて 事務連絡，平成19年4月18日		4 214
	一般用医薬品の区分リストについて 薬食安発第0330007号，平成19年3月30日		9 462
	後発医薬品に係る情報提供の充実について 薬食安発第0324006号，平成18年3月24日		9 463
	我が国における医薬品の一般的名称の変更について（その1） 薬食審査発第0806001号，平成19年8月6日		9 464
	第十五改正日本薬局方正誤表の送付について 事務連絡、平成19年9月10日		10 546
	第十五改正日本薬局方第一追補の制定について 薬食発第0928001号、平成19年9月28日		11 603

医薬品研究Vol. 38既刊号総目次

薬事	第十五改正日本薬局方第一追補の制定に伴う医薬品製造販売承認申請等の取扱いについて 薬食審査発第0928004号、平成19年9月28日	11 613
正誤表		2 93
事業報告	平成18年度事業報告書	9 486
索引	医薬品研究 Vol. 38 総索引	12 678
	医薬品研究 Vol. 38 Key word 索引	12 681